

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度 第4回相模原市総合計画審議会				
事務局 (担当課)		政策課 電話042-769-8203(直通)				
開催日時		令和5年11月9日(木) 13時30分～15時30分				
開催場所		相模原市役所本庁舎本館2階 第1特別会議室				
出席者	委員	8人(別紙のとおり)				
	その他	0人(別紙のとおり)				
	事務局	5人(総合政策・少子化対策担当部長、外4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		(1) 総合計画進行管理2次評価結果について (2) その他				

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

三橋政策課長の進行により議事に入った。

(1) 総合計画進行管理 2 次評価結果について

○ (事務局より委員からの意見の集約内容を説明)

(会長) 事務局から、本日の審議の内容、それから論点等について説明いただいた。これまでも委員の皆様から活発なご意見をいただき、各施策について審議をして参ったところである。事務局において、委員の皆様からいただいたご意見を反映する形で資料を作成している。本年度の審議の最終的な成果物として、取りまとめたものをこれから完成させていくが、皆様から改めて意見を伺いたい。

(前田委員) 資料 1 の記載方法について、成果指標の評価欄の年表記が施策によって異なっている。記載方法は統一した方が良いのではないか。また、暦年なのか年度なのかについても分かるようにすべきではないか。

(事務局) 修正させていただく。(廣田政策課担当課長)

(会長) よろしく願いたい。他にはいかがか。

(前田委員) 個別施策を審議する際、私が何度か申し上げた共通のポイントの 1 つに、相模原市は合併をしており、旧市と旧町とでは、状況が異なっているところがあり、細かい地域分析などをして、政策に反映していただきたいという意見を申し上げた。これは多くの施策に関わることがあるため、資料 2 の総評に記述を追加してほしい。

(会長) 最もな意見であり、相模原市にとっても大事なことである。「今後の推進施策に関すること」に追加でよろしいか。

(前田委員) 全体に関わるが、「その他」でも問題ない。

(事務局) 合併があった経過等を踏まえて追記する。(廣田政策課担当課長)

(会長) 最終的な成果物としては、資料2に施策ごとに審議会からの意見が評価として入り、これが報告書となるのか。

(事務局) 資料2が審議会における評価結果としてまとめたものとなる。この後ろに資料1を付属するような掲載方法をイメージしている。(廣田政策課担当課長)

(隅河内委員) 資料2の「3.総評」にある「成果指標に関すること」についてであるが、達成度を測る上で、成果指標が施策と直接的ではないものがあり、達成度が測れない。成果指標が変更できないのであれば、今の成果指標はそのままとし、それを補完する指標を設けても良いのではないか。また、「市民アンケートの設問の工夫や事業実施に市民意見を聴取する」という例示は相応しくないと考える。審議会の中では、この成果指標であれば仕方ないというものが多かった。それには、この表現では答えられないと感じた。

(会長) 隅河内委員から意見があった「成果指標に関すること」について、「成果指標を補完し」と書いているところを、「成果指標を補完検証し」と修正する。成果指標を変えるとなると、少し言い過ぎという印象もある。

(隅河内委員) 検証し、適切なものを補完する。その時にこの市民アンケートや市民の意見を聴取するということは、事業課からすると少し軽いのではないか。

(事務局) 今あるものでは不足するため、例えばモニタリングするための指標を設定するなどではいかがか。(廣田政策課担当課長)

(会長) 文言は事務局で精査していただきたい。

(副会長) 同じく資料2「3.総評」にある「その他」の2点目であるが、「市民の要望や民間企業のアイデアなど」と記載されているが、審議会では、企業のみではなく民間の広い意味で団体の皆さんとの協働という話が多く出てきたと理解している。ここは企業・団体、或いは民間非営利組織といった記載があっても良いと考える。また、「アイデアなども踏まえ」となっているが、ここにプラスして、技術開発や技術という言葉と足した方が良いのではないか。企業や団体の方がどんどん新しい技術を展開されてこられた。審議において、コンピューターのみならず幅広い意味で、新しい技術を生かしましょうという議論を追加したと思う。このほか、「成果指標に関すること」の2点目に、「単年度の値に捕らわれず」と記載されているが、「捕らわれず」というのは、無視するという解釈もできてしまう。単年度のみ

ならず、中長期のトレンドを見つつという意味での議論があったように理解している。

(事務局) 修正させていただく。(廣田政策課担当課長)

(斎藤委員) 資料1の施策2の「審議会からの意見」について、最初に「他市に比べると子育て支援は充実していると感じている」と記載されているが、これは感想となっていることから修正した方が良いのではないか。市としては、他市に比べると支援が充実していると言い切るには何か不安があるのか。

(事務局) 充実しているとは思いますが、全国の市町村をおしなべた中で、本市が最も充実しているとは言い切れない。程度の問題であるが、必ずしも充実していると言い切るには不安もある。(廣田政策課担当課長)

(斎藤委員) 大規模な予算措置をしている自治体もあることから、確かに、相模原市が突出しているという感じはしない。

(会長) 他市で子育てしていないとわからない。

(隅河内委員) 私もこの記載には違和感を覚える。どこと比べているのか。流山市などのように、話題となって取り上げられ、住民も実感しているのであれば良いが、例えば、待機児童が政令市の中では良い方であるなど具体性に欠ける。もう1点は、「審議の経過」には13歳から18歳までの事業・施策については課題が記載されている中では、「充実している」とは言えないのではないか。

(会長) 同じく「審議の経過」において、委員から「充実している」という意見があった。それは率直な意見として良いが、「審議会からの意見」となると違和感がある。これは削除して良いのではないか。

(事務局) 承知した。(廣田政策課担当課長)

(会長) 所管課としては、この意見が記載されることで励みになるだろうが、ここに記載すると浮いてしまう。

(事務局) 審議の経過において、「充実していると感じている」という意見は、とてもありがたい評価をいただいたものである。しかしながら、審議会全体としての意見

というところでは、ここの文章は削除しても、その次の記載で評価いただいていると感じている。(高林総合政策・少子化対策担当部長)

(村田委員)同じく資料1、施策2の「審議会からの意見」について、「評価することができる。」と記載され、その後「児童虐待に関する成果指標については、100%を目指すべきである。」とあるが、ここはただし書きなどを加えることで読みやすくなるのではないか。

(事務局)修正する。(廣田政策課担当課長)

(須田委員)全体を通して、最終的にどういう成果物になるのかイメージが湧かなかったが、これまでの委員の意見が資料1にコンパクトにまとめられてるという印象を持った。資料2についても、イメージすることができた。

(宮津委員)施策46の成果指標が1つしかないことから、議論が深まらなかったと感じている。また、施策35の「評価」について、ここに「令和3年度と比較すると減少」という表現があるが、審議をする中では、令和3年度の実績等を含めて議論をしていないのではないか。

(事務局)施策46の成果指標が1つしかないことについて、第3回審議会の中でも同様に指摘をいただいている。そのため、「審議会からの意見」にその旨記載している。先ほど隅河内委員からも意見があったとおり、評価を補完するような別の指標を加えることは、総評に追記させていただく。また、施策35については、本日の資料では示していないが、第3回の審議会で審議いただく際、審議に先立って、事前にご意見をいただくために、令和3、4年度の実績値を記載した検討資料を配布した上で評価いただいている。「評価」については、各所管課が作成しており、エビデンスに基づいて評価を記載している。今回は、これまで3回の審議会に出た意見のまとめであり、「審議会からの意見」や「総評」について確認をお願いしたい。(廣田政策課担当課長)

(会長)施策46について、ご意見はおっしゃるとおりである。これについては、隅河内委員からも指摘があったもので、もう少し検証すべきであり、必要な指標は付記してほしいという意見を加える。

(副会長)施策42の「審議会からの意見」に「していただきたい。」と一行あるが、これは誤植か。

(事務局) そのとおりであり、削除する。(廣田政策課担当課長)

(副会長) 施策4-1について、「審議会からの意見」に「近隣地域に負けないくらい魅力的な公園が存在と考えており」とあるが、確かに審議の中では子育てをしていく上で、公園が充実しているということ、一市民としては感じているという意見があった。それは間違いないが、その後ろに、「質の維持向上についても留意されたい」となると、魅力的な公園と言っているが、質の向上の課題に繋がるのは違和感があり、文言を修正すべきではないか。

(会長) 意見をつなぎ合わせていることから、このようなことになってしまうかもしれないが、この意見のまとめとしてはこうした情緒的な意見は削ぎ落としてもよい。

(副会長) 多様且つ市民の利便性に資する公園施設が多く存在することは間違いないという議論はしたが、「近隣地域に負けない」というのはどうなのか。大きな空間資源が整備されてきたことは、ここで確認されたと理解している。

(事務局) 相模原スポーツ・レクリエーションパークについてのご発言と思うが、現在も整備中であり、整備という表現は現時点では正しいと考えている。(高林総合政策・少子化対策担当部長)

(会長) 現時点でもよい。相模原スポーツ・レクリエーションパークなど、様々な公園が整備されてきており、「市民の満足度が高まると思われるが」という表現でよい。

(副会長) 一定程度満足度が出ていることが、この審議会の中で確認されたと理解している。

(会長) 初めは、「高まる」という表現はおかしいのではないかと考えたが、整備が進行形であれば問題ない。ここは文言修正をお願いしたい。

(事務局) 承知した。(廣田政策課担当課長)

(隅河内委員) 同文について、その後はいかがか。「施設だけでなく環境としての質」とあるが、これは緑が少ないということか。

(会長)今の文言ではそこがわかりにくい。

(隅河内委員)整備はされてきてるが、質の向上が図られている。

(会長)「環境としての質」とは何か。緑の多さなのか。

(副会長)議論の中では、箱物を作るだけではなく、周囲を含め、全体の空間としての魅力を高めるべきという議論があった。

(宮津委員)公園と広場の違いについて議論した。公園の緑化についての話にもなった。

(会長)それでは、この文言については、施設整備だけではなく、今お話があった緑化や、そうした環境についての質の向上というものを合わせ、考えながら進めてほしいという文言に整理されたい。

(事務局)承知した。(廣田政策課担当課長)

(斎藤委員)施策46の「審議会からの意見」に「PRE戦略」という言葉がある。恐らくは、委員からの意見に入っていたものを引用していると思うが注釈があった方がよいのではないか。

(事務局)修正する。(廣田政策課担当課長)

(斎藤委員)PRE戦略とは何か。

(副会長)必ずしも企業だけではないが、市の公共施設をうまく企業に貸し出して戦略的な観点からマネジメントするものである。うまく使うことで、利益に繋がる場合もある。

(事務局)PRE戦略ということで、注釈としては、法的な不動産を、経済の活性化とか財政健全化を念頭に効率的な管理により運用を推進していこうとする考え方ということで示されているが、わかりやすく記載する。(廣田政策課担当課長)

(会長)注釈をつけるのか。そうするとアクションプログラムにも注釈が必要となるのではないか。

(事務局)今の解説部分を短い文章にして、PRE戦略の部分に置き換える。(廣田政策課担当課長)

(会長)文章中に入れるのか。

(事務局)PRE戦略を平たくした形で文章を修正させていただく。(廣田政策課担当課長)

(隅河内委員)全体の書き方にも関わるかもしれないが、施策42の「審議会から意見」の「成果指標として掲げている以上、何らかの対策が必要と考えられるほか」という表現はいかがか。

(事務局)「成果指標の達成に向け、さらなる取り組みが必要」ではどうか。(廣田政策課担当課長)

(隅河内委員)「必要な対策を講じられたい」といったニュアンスで良い。また、「市民活動サポートセンターの支援強化や、ユニコムプラザさがみはらでの効果的な事業検討・実施や、」については、この書き方で統一しているのか。

(事務局)修正する。(廣田政策課担当課長)

(会長)細かい文言の修正があった場合には、事務局に連絡いただきたい。このほか、大きな議論をすべき論点はあるか。

(村田委員)論点ではなく確認であるが、施策22の成果指標2に関して、「令和5年9月頃事業者より公表予定」となっているが、最終的には、数字が入力された上で公表されるのか。

(事務局)最終的に入力したものを公表する。(廣田政策課担当課長)

(牛山会長)基本的には、大きな内容については本審議会における2次評価結果として確定したいが、よろしいか。

(委員)異議なし。

(会長) それでは本日の審議において、ご意見いただいた表現の変更や内容について、加筆と修正を事務局にお願いしたい。いただいたご意見についての修正は、私の方で確認させていただきたいがよろしいか。

(委員) 異議なし。

(会長) それでは一任いただいたということで事務局の作業を進めさせていただく。

(2) その他
特になし。

(会長) 本日の議事は終了とする。

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授 地域行政学科長	会長	出
2	長野 基	東京都立大学都市環境学部都市政策科学科准教授	副会長	出
3	隅河内 司	田園調布学園大学人間福祉学部教授		出
4	前田 成東	東海大学政治経済学部政治学科教授		出
5	横田 樹広	東京都市大学環境学部環境創生学科教授		欠
6	齋藤 祐子	公募委員		出
7	須田 理	公募委員		出
8	宮津 敏信	公募委員		出
9	村田 大輔	公募委員		出